校長のつぶやき　第１６３号「嬉しいお電話」

2024 年 1 月２５日（木）

先日、学校の近くに住む N さんという御婦人からお電話をいただきました。

内容は、先週末、近所のスーパーマーケットで行われたイベントのお話でした。

そのお店で買い物をした後に、サイコロを振って出た目の数だけ卵をもらうことができるという催しがあっていたそうです。御婦人は、そのイベントは知っていたものの、用事を済ませてスーパーに行ったため時間が遅くなり、ちょうど到着したときにその卵のイベントが終了したそうです。店員さんからイベント終了を告げられ残念そうにしていると、ある女性の方が「この卵をもらっていただけますか」と声をかけてきたそうです。御婦人は「いえいえ、私が来るのが遅かったからサイコロをできなかっただけで、そちらはサイコロで当たったものですから、気になさらず食べてください」と返したそうです。すると声をかけてきた女性が、「この子がどうしてもプレゼントしたい」というものですからぜひ受け取ってくださいとおっしゃったそうです。

プレゼントしたいと申し出ていたのが本校３年生の A くんでした。A くんに話を聞くと、残念そうにしている N さんに喜んでほしかったそうです。

何度も辞退した N さんですが、A くんの思いが強く、最後はありがたく受け取ったとのことでした。

N さんは、その経緯を学校に電話で伝え、A くんへの感謝の思いを語られました。小榊小児童の素敵な行いを大変うれしく思うとともに、こういった優しさの輪がこの小榊地区に広がっていったら素敵だなと感じた出来事でした。